

### インテリア

居住空間は、あたたか味と、コンパクトで収まりのよいフィット感を持つ、心地良い空間としました。内装パネルは革を張り込んだような柔らかい形状で手触りの良い仕上げとし、シートは、程よいホールド感を持つ継ぎ目のない立体的な造形としました。フロアは足の自由度を最大限に確保出来るポジションとしました。

着座位置からライダーの視野に入る範囲にもボディ色を回り込ませることにより、スポーティで軽快な印象を表現しました。

ハンドル / メーター回りは、クロームメッキや艶のある塗装の質感との組み合わせで、1クラス上の豪華さ溢れる印象を実現しました。

視認性の良いメーターは、中央部に立体文字盤スピードメーター、右に燃料計、オド / トリップを表示する液晶パネル、左にアイドリングストップのインジケーターがレイアウトされ、ライダーに上質な乗り物であることを訴えます。

足回りはエレガントで軽快なデザインのホイール、フロントフォークやブレーキキャリパーも専用設計する事により、安心感のある印象としました。また、ミラーも専用設計にするなど、PCXは全身に新しいスタイルをまとっています。

